

「美術 I」 シラバス

那覇商業高等学校(全日制)

教科名	芸術	科目名	美術 I	単位数	2 単位	学年	1 年
-----	----	-----	------	-----	------	----	-----

1 学習の目標

「美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。」

2 授業の目標および展開と形態

- ・ 週 1 回、2 時間連続授業とする。
- ・ 授業は実習を主体とする。
- ・ 自分で描いたり創ったり、鑑賞することを通して「美的感性」を高め、見たこと、感じたことを「表現」できることをめざす。

3 学習方法

- ・ 設定された課題を計画性をもって学習し、作品を完成させ締め切り日までに提出する。
- ・ デザインセットや教材、教具についてはいねい使用し片付けまでしっかり行う。
- ・ 課題の進行状況がなんらかの理由で遅れた場合は各自でその遅れを取り戻すように努力する。
- ・ 課題作品は、他教科の「定期テスト」と同等の扱いをするので必ず提出すること。

4 評価の観点・方法について

評価の観点	内 容	評価の方法
関心・意欲・態度	美術文化を尊重し、意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとする。	授業態度、出席状況、制作に取り組む姿勢、作品の提出などで評価します。
芸術的な感受や表現の工夫	感性や創造力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、良さや美しさなどを考える。	アイデアスケッチや提出作品などで評価します。
創造的な表現の技能	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身につけ表現方法を創意工夫する。	制作過程の様子や提出された作品で評価します。
鑑賞の能力	美術作品や文化遺産などについて知り感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取ったり、味わったりする。	鑑賞の感想等で評価します。

5 学習計画

月	題材名	時数	学習内容	指導目標
4	オリエンテーション	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間計画と基本的な心構え ・ 鉛筆の削り方 (カッターを用いて、素描で使用する鉛筆の基本的な削り方を理解する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刃物の扱い方に留意し、力の加減に気をつけながら丁寧に削ることができる。

	デッサン (靴)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン用具の特徴 ・モチーフを丁寧に観察し描写する方法を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・描き始める前にモチーフを丁寧に観察し、観察して気付いたモチーフの特徴を工夫して描写することができる。
5	色彩	4	<ul style="list-style-type: none"> ・色の性質についての基礎的な知識を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩に関する基本的な知識を理解することができる。
6・7	水彩画	10	<ul style="list-style-type: none"> ・絵具の性質について学習し手作りの水彩絵具で色彩を工夫して絵を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵具の基本的な性質について理解し、色彩を工夫して絵を描くことができる。
9	塑像 (土から生まれる彫刻)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・粘度を使って立体表現の基礎を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作る対象を様々な角度からよく観察して、内部構造を捉える為のスケッチを丁寧に行う。また、スケッチを元に立体的な空間意識で工夫して制作することができる。
10	版を工夫してポストカードを作る	8	<ul style="list-style-type: none"> ・版の技法について学習し、掘り方や刷り方を工夫してポストカードを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻刀を安全に使用し、版の技法を工夫してポストカードを作ることができる。
11	伝統工芸	8	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の伝統工芸について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の伝統工芸やその背景について理解することができる。
12	鑑賞	10	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の多様性やオリジナル性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の鑑賞を通じて、表現の多様性やオリジナルの作品を生み出すことについて考える。
1	コラージュ	6	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や雑誌、色紙等を切り貼りして画面を構成する技法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な素材を用いて、カットイングや画面の構成の仕方を工夫することが出来る
2 3	ミサンガを作る	8	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインや編みの基本的な技法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な編みの技法を理解することができる。